

都立光丘高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1-6組：赤嶺二三）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（書道 I（光村図書） ペン習字の基礎（教育図書））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】書道3分野と臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。漢字・仮名の古典を学習する。

【思考力、判断力、表現力等】古典に基づく基本的な用筆・運筆、字形、構成などを生かした表現を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書を愛好する心情を養う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①各書体における基本用筆を習得している。 ②古典の書体や書風と用筆運筆について理解	古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、	古典の価値とその根拠について考え、書の上さや

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
			漢 仮	漢	仮								
1 学 期	自分の書道道具を確認し、配置や取り扱い方、保管の決まり事、各道具の使用方法を今一度確認する。	・自分の書道用具の確認 ・一年間の授業の流れを、教科書に従って大まかに理解する ・各書道道具の取り扱い方を今一度確認する ・書道室の使用方の説明	○				行動観察			○	○	4	
	唐の四大家の代表作品を題材に、自分がもともと持っている線質や書風・好みの傾向を知り、漢字楷書に様々な作品があることを理解し、興味を持たせる。	・教科書により、唐の四大家の代表作品を比較し特徴を見つけ、鑑賞する ・半紙に縦横画、転折画などを書き、自分の筆法の傾向を確認する		○		○	行動観察			○	○	○	4
	初唐三大家の楷書作品を教科書を用いて拡大臨書し、楷書臨書技術の向上を図る	・「孔子廟堂碑」・「九成宮醴泉銘」・「雁塔聖教序」を臨書する ・各書家の筆遣いの特徴をつかんで、楷書にいろいろな書風があることを臨書しながら体感する			○		行動観察 作品制作			○	○	○	12
	初唐三大家以外の楷書作品を、顔真卿作品を中心に紹介し鑑賞する。唐時代の楷書の知識をまとめる。	・顔真卿の作品紹介と鑑賞 ・摩崖の書の紹介、方勢と円勢の趣の違いなどを作品を通じて理解する		○		○	行動観察			○	○		4
2 学 期	漢字五書体のうち、「行書」に関して鑑賞・学習する。日中両国の代表的な行書古典作品を教科書を用いて拡大臨書し、行書臨書技術の向上を図る	・書聖 王羲之「蘭亭序」の鑑賞と拡大臨書 ・日本の高僧 空海「風信帖」の鑑賞と拡大臨書		○		○	行動観察 作品制作			○	○	○	10
	漢字五書体のうち、「草書」に関して学習する。中国隋時代の智永「真草千字文」鑑賞・臨書学習により、草書臨書技術の向上を図る。	・智永「真草千字文」の歴史的価値をしり、楷書とそれに対応する草書の文字を書き比べながら、草書体を身近に感じ興味を深める。		○		○	行動観察 作品制作			○	○	○	8
	漢字五書体のうち、「隸書」に関して学習する。後漢時代の「曹全碑」鑑賞・臨書学習により、隸書臨書技術の向上を図る。	・隸書特有の筆法を理解したうえで、繰り返し学習し体得する。 ・「曹全碑」の歴史的価値や書風を理解したうえで、鑑賞し拡大臨書する。		○		○	行動観察 作品制作			○	○	○	7
	3学期からの篆書体の学習・落款印制作実習に先がけて篆書篆刻辞典で、自分の名前を調べ確認する。	・篆書篆刻辞典により、自分の名前の字体を確認する。			○		行動観察			○			1

